

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2017-71364(P2017-71364A)
 【公開日】平成29年4月13日 (2017.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報2017-015
 【出願番号】特願2015-201040(P2015-201040)
 【国際特許分類】

B 6 0 C 23/04 (2006.01)

G 0 1 L 17/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 C 23/04 N

G 0 1 L 17/00 3 0 1 P

【手続補正書】
 【提出日】平成30年2月16日 (2018.2.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 3 】

図 7 は、センサ I D 確定状態を説明するための図表である。図 7 に示すように、右前、左前、右後、左後の 4 つのタイヤ位置には、それぞれ、アンテナ I D が「 1 」、「 2 」、「 3 」、「 4 」の L F 送信アンテナ 1 4 a が対応付けられている。また、各タイヤ位置の 4 つのタイヤ 3 にそれぞれ設けられた検出装置 2 のセンサ I D は、該検出装置 2 が設けられたタイヤ 3 のタイヤ位置にそれぞれ関連付けて、センサ I D テーブルに登録されている。例えば、右前のタイヤ位置には、センサ I D 「 1 1 1 1 1 」が、左前のタイヤ位置には、センサ I D 「 2 2 2 2 2 」が、右後のタイヤ位置にはセンサ I D 「 3 3 3 3 3 」が、左後のタイヤ位置にはセンサ I D 「 4 4 4 4 4 」が関連付けられている。

一方、図 7 中「受信したセンサ I D」は、受信した各タイヤ位置に対応するセンサ I D を示しており、タイヤ位置毎に、センサ I D テーブルに登録されているセンサ I D と、受信したセンサ I D とが一對一で完全に一致している。具体的には、車両 C の右前に位置する L F 送信アンテナ 1 4 a から第 1 要求信号を送信し、受信したセンサ I D が「 1 1 1 1 1 」、左前に位置する L F 送信アンテナ 1 4 a から第 1 要求信号を送信し、受信したセンサ I D が「 2 2 2 2 2 」である。同様に、車両 C の右後に位置する L F 送信アンテナ 1 4 a から第 1 要求信号を送信し、受信したセンサ I D が「 3 3 3 3 3 」、左後に位置する L F 送信アンテナ 1 4 a から第 1 要求信号を送信し、受信したセンサ I D が「 4 4 4 4 4 」である。